

岩内町郷土館 平成三〇年度第三回企画展

北海道百五十年 北海道みらい事業

松浦武四郎と岩内地方

パート1



松浦武四郎肖像(松浦武四郎記念館提供)

安政の頃より蝦夷地を探検し、「北海道」の名をこの地に見出した松浦武四郎。
西海岸通行の最大の難所、雷電峠の山中に遺された函館奉行筆「熊野」の扁額から物語は始まります。
彼が歩いた、150年まえのイワナイ地方はどんな様子だったのか！

期間：平成30年7月7日(土)
～9月24日(月)



(左)「熊野」扁額。函館奉行 堀織部正直筆。(右)扁額裏書。松浦武四郎直筆。



開館時間：9:00～17:00

休館日：月曜日(祝日の場合その翌日)

入館料：岩内町外の方 200円
岩内町内の方 100円

岩内町郷土館

〒045-0022 岩内町清住5-3

TEL/0135-62-8020

www.iwanaikyoudokan.com Fb/岩内町郷土館



企画展のおもな見どころ

アイヌ民族の生活
武四郎の見たイワナイ場所
のアイヌたち。生活道具など
の展示。



イワナイ場所請負人 佐藤仁左衛門
雷電山道、余市山道を開拓。その褒賞を受け、
記念に作成した壺を展示。また土地のアイヌと
の深い関わりを見る。

松浦武四郎雷電越えの大油彩画
岩内出身画家山岸正巳画伯の作品。安政
三年に雷電を通った武四郎一行の様子をダイ
ナミックに描いている。

